



東久留米市ファミリー・サポート・センター

クル・メル通信 NO.54

2025.8



残暑お見舞い申し上げます。

今年も厳しい暑さが続いております。皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。お子さん・お孫さんの夏休みに合わせて、お出かけ・ご旅行をされたかたも多いと思います。

まだまだ水分補給の欠かせない日々が続きそうですが、熱中症に気を付けて皆さま楽しい夏をお過ごしください！

Topics

- ◆ サポート会員交流会カフェ(9月)開催のお知らせ
- ◆ サポート会員フォローアップ講座のお知らせ／
- ◆ サポート会員講習会のご報告
- ◆ 活動報告書から／事務局からのお知らせ／活動件数



サポート会員交流会カフェ(9月)開催のお知らせ

今回はサポート会員同士で交流を図る「サポート会員交流会」です。

日 時:令和7年 9月19日(金)午前 10 時～正午(出入り自由)

場 所:市民プラザホール(東久留米市役所 1F)

内 容:

- ①交流会カフェ…お話しをしながら
情報交換、ワンドリンク無料
- ②ちょこっとハンドメイド…ちぎり絵、
見守りの際にお子さんと楽しむ折り紙
- ③ファミサポ相談…アドバイザー、
サブリーダーによる個別相談、子育て
情報の資料展示

日ごろ疑問に思うこと、この場合にはどのように対処したら良いかなどを、他のサポート会員さんに聞いてみませんか。ご参加をお待ちしています！



サポート会員 フォローアップ講座のお知らせ

お子さんを安全にお預かりするために、5年に1回受講が必要です。

テーマ:「リスクマネジメント(ヒヤリ・ハット事例検討)」

保育者のための

講師 保育の安全研究・教育センター 所 真里子氏

「ハザード」教室 著者

日 時	令和7年 11 月 21 日(金)午前 9 時半～11時半
場 所	わくわく健康プラザ社協会議室 AB
対 象	令和6年度までの入会で、リスクマネジメント未受講のサポート会員
定 員	20 人(先着)
申し込み	メール、もしくはお電話でお申し込みください 締め切り 10 月 31 日(金)

【昨年の参加者の感想(一部)】

- 日常で見かけない事例について写真を見ながら状況の説明があり、事故には理由があることの意味がよくわかりました。その理由に気がつけるように意識してサポートが必要と思いました。
- チャイルドビジョンで見た視界が狭いことに驚きました。
- 講義はわかりやすくとても良かったです。また受講生の皆さんの身近な事例を聞くことができ、とても良かったです。今後のサポート活動に活かしたいと思いました。
- 誤嚥の事例や事故の話はとてもびっくりしました。今後の活動も絶対安全はないということを忘れず行動しようと思いました。
- 安全は環境を作ることの大切さを再認識しました。



【ヒヤリ・ハット】

- サッカー教室への送りの際、いきなり車道に飛び出したので、驚き・ヒヤリとしました。
- 公園の棒に片手でつかまりグルグル回っていたら、手が外れて転倒。幸い怪我はありませんでしたが、子どもはびっくりしていました。
- 歩き始めの時、床で転ばずに窓にぶつかり赤くなってしまいました。
- 雨の日に送迎で使う道を歩いていたところ、予想外に水が溜まる場所があり、サポート活動の際に利用する時には、安全な場所を通った方が良いと思いました。

資料・図書の紹介

お子さんの安全のため、みんなで気を付けていきたい事故防止の参考資料・図書をご紹介します。



子供の事故予防ハンドブック(乳幼児編)

編集・発行／東京都子供政策連携室(令和6年3月)

子供の事故予防についての基本的な考え方や、10の事件事例とその予防策が掲載されていて、デジタル版をホームページから見ることができます。小学生編、中高生編もあります。



イラストで学ぶ 保育者のための「ハザード」教室

著／所真里子、掛札逸美、レーヴ法律事務所(令和5年1月)

イラスト・図解で、こどもにとっての「危ない!」ポイントがひとめでわかります。保育園向けですが、ファミサポの活動にも参考になる図書です。フォローアップ講座の時に閲覧できます。

熱中症を防ぎましょう

◎子どもは身長が低い分、大人よりも高温の環境にいます。さらに、ベビーカーの赤ちゃんは地面の照り返しで暑い思いをしています。お父さん、お母さん、サポート会員さん以上に暑さを感じていますので、暑い日には、子どもの表情をしっかりと見て体調の変化に注意しましょう。

◎ファミリー会員さんは、ご自宅で見守りをお願いする時、サポート会員さんにエアコンの操作方法や、リモコンの場所をお伝えください。または、お会いしない場合は、メモを残しましょう。

サポート会員講習会報告

サポート会員になる人は、子どもを安全に預かるための知識を身に付けることを目的に、24時間の講習会を受講しています。今年度は6月の講習会を4人が修了しました。地域の子育て応援隊として、ご協力をお願いいたします！



また、既に活動しているサポート会員の方々には、フォローアップの講座として受講されました。ぜひ、次回の参加もお待ちしております。

【講習会の感想】



○必要な学習と実践体験によって、活動のためや関わる子どもやご家族についての知識を得ることができました。何度も繰り返し、資料を確認していきたいと考えています。

○活動を始めている方が一緒に講習会を受けることで、実際の様子や問題点がわかりとても良いシステムだと思った。

○子どもだけではなく親御さんにも寄り添えるサポート会員としての在り方を学びました。

○内容がたくさんあるのでうまくいくか多少不安に感じます。

○小児科医としてのご経験から発達や病気の症状等についても具体的に実際のお話を聞けて有益な時間でした。



＊＊活動報告書から＊＊

歩きながら、今日〇〇〇ちゃんが学校で作った工作のお話をしてくれました。「題名は？」と聞くと、クイズ形式でヒントをたくさん出してもらって、習い事へ到着するギリギリで正解が出ました！（小学1年生の女の子・学童から習い事への送迎）



事務局からのお知らせ



◎現況確認票と今後のご依頼について

現況確認票をご提出いただき、ありがとうございました。

三者面談または前回のサポート活動から1年を過ぎるなどお久しぶりのご依頼の時は、再度三者面談を行うことがあります。理由は、お会いしない間にハイハイをしていた赤ちゃんが歩き始めたり、二語文から楽しいおしゃべりが始まっていたりと、できることが増えたお子さんの状況に合わせた安全なサポート活動をするためです。ご協力をお願いいたします。

◎台風やゲリラ豪雨(雷雨)時は、無理せずキャンセルをご検討ください。

台風により、安全にサポート会員が活動できないことが予測される場合、ファミリー会員がファミサポ以外の方法を検討の上、できるだけ前日にキャンセルをしていただくようお願いしています。ゲリラ豪雨(雷雨)など、突然のことで予測が難しい場合は、ファミリー会員とサポート会員で連絡を取り、お迎え時間を変更するなど調整してください。お子さんを安全にお預かりするため、よろしくお願いいたします。

◎新任サポート会員の実地研修について

初めて活動するサポート会員が、先輩サポート会員に同行する実地研修を実施しています。三者面談の際にご相談することがあります。ご協力をお願いいたします。

◎サポート会員の方へ

「ネームホルダー」「緊急連絡先」「緊急時の流れ」を同封しました。内容に変更はありませんが、携帯しやすい大きさにしています。サポート会員証の裏に「緊急連絡先」のカードを入れて、サポート活動時にご持参ください。また、A5判の「緊急時の流れ」は折ってホルダーに入れ、必要な時にお使いください。



会員数および活動実績

☆会員数(令和7年7月31日現在)

会員種別	人数
ファミリー会員	437
サポート会員	126
その他会員	5
合計	568



☆活動依頼件数(令和7年4月1日～7月31日)

活動内容	件数
学習塾や習い事等への送迎	118
その他(預かり)	76
保育施設の保育終了後の送迎及び預かり	36
保護者外出の際の子どもの預かり	29
学童保育所終了後の送迎及び預かり	28
保育施設の保育終了後の送迎(迎え)	26
保育施設の保育終了後の送迎(送り)	18
学校の登校前の送迎及び預かり	4
上記以外(計)	38
合計	373

〒203-0033 東久留米市滝山4-3-14
わくわく健康プラザ社会福祉協議会内
東久留米市ファミリー・サポート・センター
TEL 042-475-3294 FAX 042-476-4545



ご意見等ありましたら事務局までお寄せください。次回の「クル・メル通信 NO.55」は2025年12月発行予定です。